

10/14

義援金と音楽を被災地に

「ピュアハート」が石巻市社協から表彰

市内を拠点に、知的障がいがある人などでバンドを組み活動する「ピュアハート」が石巻市社会福祉協議会（社協）から表彰を受けることが決まり、この日、藤田市長に報告しました。

この表彰は、東日本大震災の後、被災地でコンサートをしながら障がい者施設に義援金を届けたことが感謝されたもので、代表の國友 美枝子さんは「また皆さんが元気になる演奏ができれば」と話しました。



過去に受けた石巻市社協からの感謝状と一緒に

9/28

よりよいまちづくりのために 支援を

つくし青年会議所が感染症対策用品を寄贈

つくし青年会議所から新型コロナウイルス感染症予防対策として、次亜塩素酸水1,000リットル、非接触型体温計24台の寄贈がありました。

理事長を務める武藤 孝史郎さんは「感染症の影響でなかなか活動ができない中、皆さんの力になれることはないか検討し、寄贈を決めました。今後も一緒によりよいまちをつくっていけたら」と話していました。



藤田市長（左）に贈呈する武藤理事長（右）

10/18

作って演じて コミュニケーション

親子であそぶ人形劇がっこうinちくしの

久留米市を拠点に活動する人形劇団「舞台アート工房・劇列車」が、親子で人形劇を体験するイベントを文化会館で開催しました。

発泡スチロールの玉を使った顔に、毛糸で好きな髪型を作り人形を作成。劇団員から「ユーモアと意外性が大事」などのアドバイスを受けて親子で即興の人形劇にチャレンジしました。相手の動きを見ながら呼吸を合わせ、親子で人形劇を楽しみました。



人形劇を通じたコミュニケーションでみんな笑顔に

10/2

中学生は市の宝 今後の活動を支援

五中連合体へ寄付金を贈呈

長年にわたり市の教育委員長などを務めた近本明さんが学校現場や相談事業などでの実践をまとめた冊子「今、伝えたいこと」の売上金を、市内五中学校生徒会連合体の活動に役立ててもらいたいと近本さんから希望があり、贈呈式が行われました。

近本さんは、現在に至る中学生の状況を振り返り、「『筑紫野市の宝は中学生』と話している。有効に使って欲しい」と代表の生徒に贈呈しました。いただいた寄付金は連合体の活動の経費などに活用します。



5中学校の生徒に語りかける近本さん